

可茂県事務所 振興防災課
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
家庭教育推進専門職 安田

ワーク・ライフ・バランス思考で、
楽しく豊かな子育てを！

令和7年度
12月号 No.9

いいかも



令和7年度可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ～泣いて、笑って、ともに歩もう～



「いいかも」
こちらから



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

講演会型 + 子育てサロン型 ～命の大切さ・家族の大切さ～

富加町立とみかこども園家庭教育学級 プライベートゾーンの前に知っておきたい、発達と性のお話 ～助産師が贈る性と生～

開催日時 : 令和7年10月30日(木) 14時～15時
対象 : 全保護者
参加者 : 約50名
場所 : とみかこども園 遊戯室
講師 : めくもり助産院(可児市)
院長 森 仁美(もり ひとみ)氏
助産師 藤田 愛実氏(ふじた あいみ)氏



性は思春期の話だけでなく、「愛着・自己肯定感・安心感」と深く関係しています。
「なんでも話していいよ」と言える親になるためには、幼少期の対話がカギ。性の話は、日常の中にある「愛」と「繋がり」のカチです。

院長の森助産師は、これまで大学にて助産・性教育を専門とする教育活動に従事しながら、20年以上にわたり、保育園・小中学校等で保護者向け、子ども向けの「いのちの授業」を実施。現場での対話と感性を大切に科学的知見と体験を繋ぐ、あたたかな性教育を実践しておられます。



学級長さん
あいさつ

講師紹介 & 講座スタート

講話
・親の性の話題への構えをゆるめること。
・こどもの性に対する関心を発達の一部として見られること。
・プライベートゾーンの伝え方の前にある関わる姿勢の大切さ。
・困った時は、人に相談していいと感じられること。等

保護者アンケートより
「満足度」 94%が満足と回答
・見守るという対応の大切さを教えてもらった。
・性教育を難しく考えていたけれど、改めての話ではなく、日常で少しずつ伝えていくことだと感じた。
「今後も性の学びを希望しますか？」
100%が希望すると回答
・恥ずかしいとか話づらいイメージがあったが、「性は生きる力」という言葉でポジティブなこと、隠さなくてもいいというイメージが変わった。



その時、自分は感じたの？



あるあるトーク TIME



その時、どう子どもに反応したの？

年少・年中・年長さんチームに分かれ受付を行います。
今回は年長チームが担当しておられました。



とみかこども園では、保護者が中心になり、家庭教育学級のテーマに基づいた講座を計画されます。本講座は、保護者の方からの強い要望があり開設に至ったものの一つとのことです。

グループワークが
大好評

体験活動参加型 ～家族の大切さ～

可児市立広陵中・帷子小合同家庭教育学級 ワンバウンド・バレー

開催日時：令和7年11月5日（水）10時～11時
対象：広陵中・帷子小保護者
参加者：13名（小学校7名 中学校6名）
場所：広陵中学校体育館



広陵中・帷子小共に、年度当初（4月）に、学級生を募集し、応募された方を中心に家庭教育学級が運営されているとのことです。

今年度、中学校は約40名、小学校は約45名が活動を行ってみたいです。

<活動の目的>

広陵中と帷子小は、昭和後期から、平成にかけて人口が増加した住宅地の中にある、1小・1中の学校です。兄弟姉妹が小・中両方に在籍している家庭もあり、保護者同士が繋がりを絶やさないよう、活動を進めています。合同家庭教育学級は、ずっと以前から、年に1度、実施してきました。今回は、市が推奨している、ワンバウンド・バレーを通して楽しい時間を過ごし、交流を深めたいと思います。（学級長さんより）



「ワンバウンド・バレー」は、バレーボールに似たスポーツで、変形した「ふらば〜る」という軽いボールを使用します。相手コートから返ってきたボールは必ずワンバウンドさせてからレシーブするのが最大の特徴です。このルールにより、ボールが予測不能な動きをすることと、ボールが比較的軽いことから、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツです。



まずは、準備運動開始！



指導員の方のお話！



ゲーム開始！

試合結果

	小	中
1	7	15
2	11	15
3	15	11

初めて経験される方が多かったのですが、皆さんの上達ぶり、素晴らしい！



学級長さんを中心に本日の振り返り！



記念撮影をして解散！皆さん、お疲れ様。

帷子小の学級生さんは、この活動が始まる1時間前に、校区の地区センターに集合し、サロンをした後、中学校の体育館に集合されました。「夏休みの過ごし方」「クリスマスプレゼント」について話が弾んだとのことでした。

終了後、「体が温まり、いい汗をかきました」「初めて挑戦しましたが、楽しくできました」「地区のバレーの集まりに参加してみようかな」などの声が聞こえてきました。



可児市では、市のスポーツ推進委員会が中心となり「ワンバウンド・バレー」の普及に力を入れています。年に2回大会を行い、各種団体の行事に積極的に指導員派遣を行っています。今年、家庭教育学級に、この講座を取り入れた園・学校がたくさんありました。（市の担当者より）



体験活動参加型+子育てサロン型 ～家族の大切さ・命の大切さ～

七宗町立七宗中学校 ～給食試食会・サロン会・寄せ植え～

開催日時：令和7年11月14日（金）

12時30分～ 給食試食会・サロン会

13時30分～14時30分 寄せ植え

場所：七宗中（家庭科室・技術室）

参加者：9名

講師：クローバーズ（代表 かに みどり 可児 美鳥 氏）・他3名
（クローバーズは、七宗町のボランティア団体です）

<テーマ> 『過ぎゆく年への感謝と新しい年への希望を込めて』
寒い冬を耐え忍んで咲く花たちは、想像もつかない程、生命力を秘めています。
病害虫の心配もなく、手間をかけずに花を楽しめるのが、この季節の魅力です。
時節柄、年末年始をイメージした素材を使った作品作りをします。ご家庭で飾って、楽しんでもらえたらと思います。（クローバーズ & 家庭教育学級担当より）

③寄せ植え教室

ゴールドクレスト・葉ボタン
・パンジー・虹色スミレ・
勿忘草・スノードラゴン・初
雪かずら、計7種類の植物を
バランスよく配置します。



「はあ、幸せ」
こんな言葉が、
聞こえてきました。

①まずは、給食試食会から！



本日のメニュー
・きつねうどん ・大学いも
・ブロッコリーのおかかあえ
・ひだりんご ・牛乳
一年に一度の試食会。この日
を楽しみにしておられる方も多
いようです。



②給食の後のサロン会

お茶を飲みながら、部活動
のこと、学校行事のこと、家
族のこと、先生のこと等、皆
さん、大盛り上がり！



学校から先生も3名、
寄せ植えに参加されまし
た。

作業が進むにつれ、皆
の集中度が増し、会場が
しんとりました。



素敵な作品の出来上がり～！

七宗中は、上麻生中・神淵中が統合し今年度より新たにスタートした学校です。今回の学級の参加者は、旧上麻生中の方が5名、旧神淵中の方が4名、合計9名でした。「生徒も保護者も、部活動等の練習などを通して比較的スムーズに知り合えました。」「今のお母さんは、フルタイムで働く方が多く、行事に参加しにくい部分がありますが、躰は家庭で行うもの。そのことについて、親は積極的に学ばなければいけないと思う。」「子育てについて学び、親が交流できる家庭教育学級はとても大切なもの。これからも継続していきたい。」と、こんな声を聞かせていただきました。（取材より）

園行事参加型 + 体験活動参加型 ～命の大切さ・家族の大切さ～

御嵩町立上之郷保育園 ～「干し芋づくり」～

開催日時：令和7年11月18日（火）10時～11時30分

場所：上之郷保育園 遊戯室

参加者：約20名

講師：御嵩町 栄養士さん



<目的>

少しでも多くの保護者が参加しやすい家庭教育学級を実施するため、これまで園の中で実施していた干し芋づくりに、保護者も参加させていただくことにします。子ども達が苗を植え、育てたさつまいもを使った干し芋づくりを体験し、親子で楽しみたいと思います。（学級長さんより）



こんなに大きな
さつまいもが
たくさん！



さつまいもをきれいにあらう！



ピーラーで
かわをむく！
年長さん大活躍！



水に入れてアクをぬく！



ここからの作
業は、お父
さん・お母さんが
大活躍！



食べやすい大きさに切る！

蒸し器でむす！



おいし～い！



一週間ほど
したら、おい
しい干し芋の
出来上がり。
今日はふかし
芋とプライド
ポテトをいた
だきました。



網に干し、「おいしく
な～れ」のおまじない！

完成！



栄養士の先生より
園でさつまいもを育てるところから収穫までを通して自分が食べるものに関わり、食べることは楽しい、嬉しいにつながり、食に興味をもつきっかけになればと思います。



おねがい
・てをしっかりあらいま
しょう。
・ホールのなかでふざ
けたりはしりまわった
りしない。
ひをつかいます
ほうちょうをつか
います
・せんせいのおはなし
をしっかりききましょ
う。
・やくそくをまもって、
たのしいじかにし
ましよう。
（作業開始前に安全面の指
導がありました）

「家庭教育学級を盛り上げていきたい」、そんな願いをもち、園や町の職員と連携し、親子での「干し芋づくり」が実現しました。体験で皮むきをすることがわかり、前日、家で人参の皮をむいて練習してきた年長児がいるという、微笑ましいエピソードも伺いました。園行事参加型で実施するというひと工夫で、多くの保護者に家庭教育学級の楽しさを紹介することができたようです。（取材より）

充実の秋！ 各市町村で様々な家庭教育学級が開催されました。